

勝山 市報

主 目 次

- ◇お 知 ら せ.....(2)
- ◇市 の 財 政 口 書.....(3)~(4)
- ◇市政の回顧と展望 ⑨ 市の厚生事業.....(5)
- ◇マンガ=明るい一家.....(6)
- ◇われらが母校 ⑩ 荒七小学校.....(6)
- ◇くらしのメモ.....(6)

昭和二十五年七月二十七日(第百五十三号)発行
 勝山新聞社
 勝山町南町七十三番
 電話三五五
 八月二十日発行



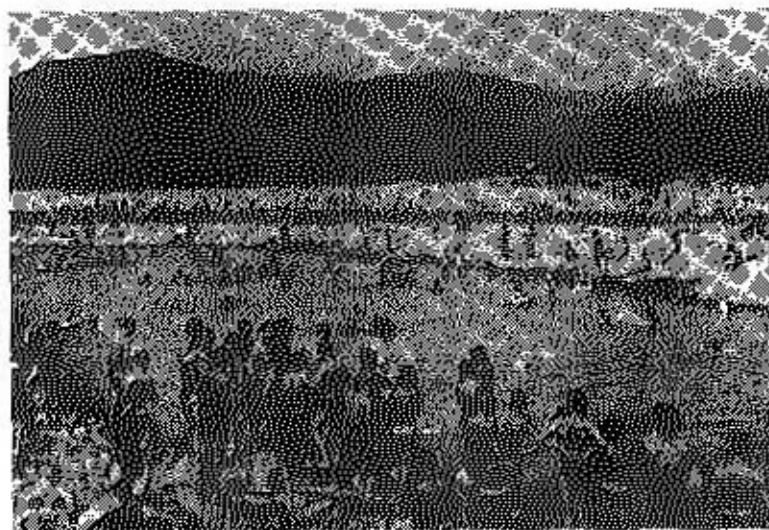
受診率は八割以上?

レントゲン検査が、さる四日北谷町杉山を皮切りに市内各地でおこなわれています。レントゲン車で出張サービス、それにおひるどきとあつて、受診成績は大変よく「おかげさまで八割以上です」と技師さんや保健婦さんはうれしそう。お暑いのに本当にご苦労さまノ保健所の調べによりますと市内に約五百人の結核患者がおられるそうです。結核は早くみつけて正しく治療すれば必ずなおります。折角の機会ですから、どんな丈夫な人でもレントゲンで結核の有無をたしかめて、健康な明るい生活をおくりたいものです。来月は勝山町で行なわれます。該当者は全部受けてください。(写真は預言で)

○……暦の上の立秋をむかえて早くも十日、ようやく暑さも下り坂。今年の夏は特別に暑かつた三十四度を越した日も幾日かあった。十五日も続いた日照りは昭和十九年以来はじめてのこととか。

九頭龍はカツバの天国

十五日も日照り続く



た水泳場は、この勝山橋下と小舟設、高島の三ヶ所。どこも水のとりこになつた格好。

○……マテはずれのタンポは、はやくも早稲が頭をたれていゝ。六年度連続の豊作々といううれしいニュースは、農家の人たちの心はずませている。すでに

橋の下の水泳場では連日千五百人のカツバたちでにぎわつた。毎日午後一時から二時間、市水泳連盟の会員のみなさんと、P.T.A.の方々のご協力で、事故はななく女子と男子カツバ天行であつた。

市教委が事故防止のため指定し

に台風がやつてきている。天災も人間の英知である程度いとめることもできる。大きなものがこないうちに対策をたてておきたいものだ。

勢かな実りの秋であればよいである。(写真にはにぎわう勝山橋下の水泳場)

▽……市民生課では、つぎの日程により福祉年金証書を締結し、家賃から印かん(年金所得状況届)に使用したもの)と、あずかり証をもつてお出でください。

- ▽二十二日 村岡▽二十三日
- 野向▽二十四日 平泉寺▽二十五日
- 北郷▽二十六日 北谷▽二十七日 運羽▽二十九日 荒土▽三十日 鹿谷▽三十一日
- 芳野、上芳野、旧猪野瀬、沢▽九月一日 下元禄、上元禄、立石、立川▽二日 郡、袋山、上後、中後、下後、長洲、富田

場所旧村部は出張所、旧町部は市役所民生課。時間は市役所の勤務時間と同じです。

もし指定された日に、とりにこられない人は、九日三日以後に市民生課へとりこまてください。

告知板

の農家の経営状態を統計的にあきらかにして、これからの農業経営の指導や補助の資料にするもので、したがつて税金などは全然関係がありませんから、調査員がまわりましたら、ありのまゝお答えくださいませう。農務課では要望しています。

なお、できあがつた農家台帳は、市役所とみなさんの部落に一部づつ保存しておいて、新しい村づくりの資料の役目もはたします。

よりよい村づくりは正しい農家台帳の作成にあるとおもいます。

△……家の建て増しや、畑を宅地に用途がえしたときなど、家屋や土地を異動した場合は、必ず一ヶ月以内に登記してください。もし怠りますと、過料をとられますからくれぐれも注意して下さい。登記簿は、みなさんの財産をまもりまします。また市が固定資産税をかけるときや、そのほか建設、農務などの行政をすゝめていくうえの重要な資料です。

登記の役割をりつぱに果たすようにするには、次のようなときに、登記をすることが大切です。

- ①土地の用途変更
- ②一筆の土地を分割したとき
- ③土地が流失してなくなつたとき
- ④家の新築、改築、増築、構造の変更、とりこわし。

人事異動

八月一日付
カッコ内は旧任

- ▽議会事務局長 伊藤政治(戸籍課長)
- ▽戸籍課長 川原久兵衛(財務課長補佐)
- ▽財務課長補佐 佐々木彰(衛生課長補佐)
- ▽衛生課長補佐 玉木次也(民生課補佐)
- ▽民生課補佐 武内康孝(平泉寺出張所長)
- ▽平泉寺出張所長兼平泉寺公民館長 平泉正男(教委係長)
- ▽林務課林務係長 大沢宏(林務課)
- ▽民生課補佐係長 坪内定一(民生課)
- ▽水道事務所庶務係長 山口弥三松(水道事務所)
- ▽同工務係長心得 柿原一法(同)
- ▽財務課 萩原親俊(平泉寺公民館)
- ▽民生課 太田陽一(勝山公民館)
- ▽林務課 結川三左エ門(北谷公民館)
- ▽民生課 矢戸厚一(建設課)
- ▽総務課 石坂ツヤ子(民生課)
- ▽民生課 黒田肇子(総務課)
- ▽経理室兼財務課 山内秋子(財務課)
- ▽戸籍事務嘱託 斎藤市新三(議会事務局長)
- ▽教委事務局長 竹原住太郎(戸籍課配給係長)
- ▽北谷公民館主事 西代志野(林務課林務係長)
- ▽勝山公民館主事 森石英治(民生課)
- ▽平泉寺公民館主事 福井浩夫(財務課)

市の財政白書

一般会計

昨年九月末の財政公表よりその後五回の追加更正予算をおこない三十四年度の最終予算総額は二億八千五百四十万四千八百円でこれ

1億2千万円投資

納税率は96パーセント

三・二多)を上回る九五・八多の好成绩でした。市民の皆様のご協力によるものと深く感謝致します。その他の収入は国や県からの交付税、補助金、起債等ですが支出に

支出の経費別の内訳は過去の借金の返済が一・六多で、その重

別の内訳は第一表の通りですが、収入の大半を占める市税の状況は第二表の通りです。収入率は前年度(九

金の返済が一・六多で、その重

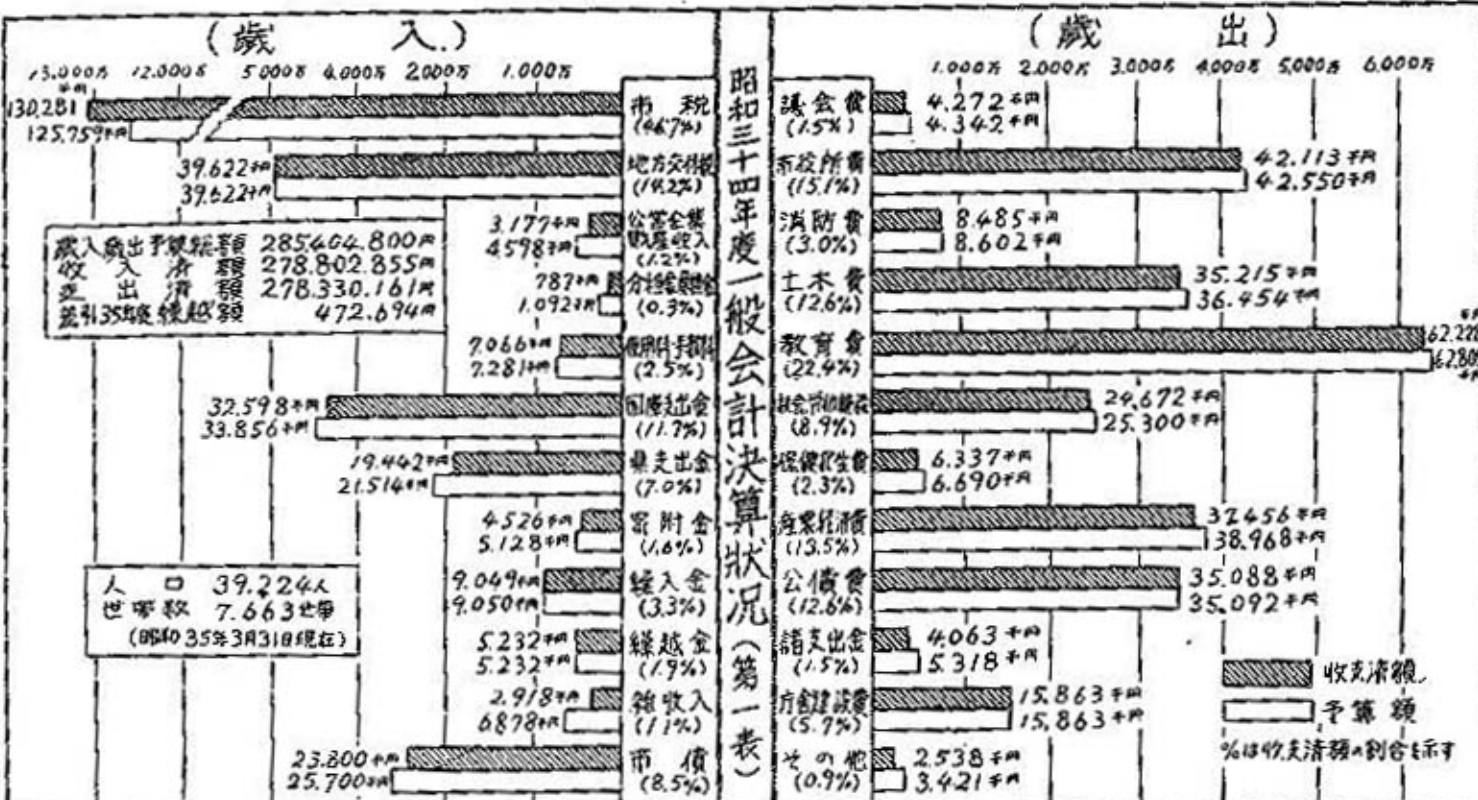


その他の諸税 (雑木枝取引、軽自動車田賦等)
 額定 1,658千円
 収入 7,495千円
 収入率 90.1%
 市民税 38%
 国民税 195%

一、庁舎建設整備費 一六三五
 二、消防施設整備 二四八
 三、都市計画及排水分 六四六
 四、道路橋梁新設改良 一一〇〇

本市の特別会計は九会計で各会計の三十四年度最終予算額と収支額は第三表の通りです。

- ### 特別会計
- 五、荒土小、北部中、勝山中、村岡小中、南小校、公民館等の教育施設整備 二六〇二
 - 六、産業振興と観光施設 七五一
 - 七、用水建設 二八三
 - 八、労働対策費 三二九
 - 九、災害復旧費 四四一三
 - 合計 一億二千七万円



第三表 昭和34年度各特別会計決算状況 (単位千円)

1 基本財産造成費	予算額	13,900	昭和三十四年度各特別会計決算状況	6 水道給水費	予算額	2,838
	収入済額	13,598			収入済額	919
残 225	支出済額	13,373	不足	1,669	35年度歳入繰上充用	
2 奨学資金	予算額	312	7 国民健康保険事業	予算額	32,965	
	収入済額	312		収入済額	30,435	
残 920	支出済額	312	不足	1,742	35年度歳入繰上充用	
3 公営事業	予算額	3,784	8 鹿谷国保直営診療所	予算額	2,636	
	収入済額	3,921		収入済額	2,569	
残 10	支出済額	3,001	支出済額	2,569		
4 簡易水道	予算額	225	9 北谷国保直営診療所	予算額	1,604	
	収入済額	169		収入済額	1,530	
残 10	支出済額	159	支出済額	1,530		
5 水道建設費	予算額	9,600	国民健康保険会計には市民の健康保険事業と鹿谷、北谷の直営診療所会計となつています。国民健康保険会計にも市発足当時の引継赤字があり年々経営の合理化に努めてきましたが、三十四年度では前年度より百三十八万円赤字を減らすことができました。			
	収入済額	7,000	財産と公債			
不足 2,451	支出済額	9,451	三十四年度末における市有財産			

し、三十四年度に水源井、ポンプ所、送水ポンプ、送水管三〇〇米配水管四三九米の布設を行ない一部に給水を開始しています。布設頭初の年度です。約四百万円の収入不足となっていますが、今後事業の進歩と普及率の向上により収支のバランスが保てる見通しです。

及市債の状況は第四表の通りです。市債総額は一億九千六百九十六万六千円で三十四年度中の元利償還金は三千五百万円余となつており、全国平均をよ、上廻つております。三十四年度で財政再建のための歳入欠かん補填債を完済しますし、市債総額中の上水道等の公営企業債等を除いて比較しますと概ね全国平均と同程度になりますので、二年間が市財政の一番苦しい時期です。

第四表 財産及公債現在高

一、不動産の部

建物面積 五八、九六四・八二[㎡]

敷地面積 九〇、五三三・八六[㎡]

宅地面積 七二、二〇二・五五[㎡]

山林面積(含保安林) 一、八一七・三二[㎡]

その他の土地面積 一九・五〇[㎡]

二、有価証券

砂防会館建設出資証券 五〇〇、〇〇〇円

興業債券 二〇、〇〇〇円

以上三十四年度の決算状況についてそのあらましをお知らせしましたが過去の赤字解消に努めながら、事業投資は積極的に行つていくことをご理解下さいますようお願いいたします。

公債費途別現在高	三三年度末	増減(△)
①普通土木債	七、五七六	六、九一二
②農業土木債	一五、七九六	一二、九四二
③災害土木債	八、〇四九	五、五八三
④都市計画債	三、二四六	三、四一七
⑤教育債	三九、七四一	三三、三八四
⑥災害教育債	三〇、八九二	三二、七八六
⑦住宅建設債	三、七四六	三、二八八
⑧消防債	三、八三三	四、九五
⑨役場庁舎復旧債	五、六七	四、九二
⑩保健衛生債	九二八	一、〇四一
⑪市庁舎建設債	四四、五三四	四〇、〇〇〇
⑫退職手当債	—	一、四六五
⑬歳入欠かん補填債	二七、七八二	四〇、二一七
⑭災害特別債	一、四〇〇	—
⑮公益質屋債	五四八	一、〇六四
⑯簡易水道債	一、一七八	—
⑰上水道債	七、〇〇〇	—
⑱造林債	三、六〇〇	—
計	一九六、九六六	一八四、四三六
三十四年度末現債高	一九六、九六六千円	市民一人当五、〇三二円
		一世帯当二五、七〇四円

三、造林見積価格

造林面積 一、八二二・二八[㎡]

価格 五二、九九五千円

計 一九六、九六六千円

三、公債利率別現在高

二、公債借入先別現在高

資金運用部 一四七、八〇九千円

簡易保険局 二四、九三九千円

福井銀行 二〇、六一八千円

農林漁業金融公庫三、六〇〇千円

計 一四七、八〇九千円

八分以上 五〇〇千円

計 一九六、九六六千円

四、一時借入金 なし

市政の回顧と展望

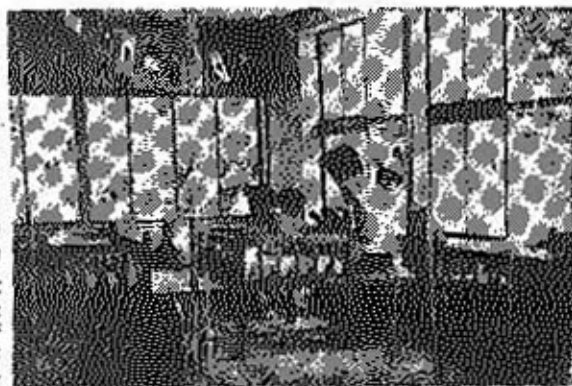
市の厚生事業

好評の乳児保育所

昭和三十三年九月に県下ではじめての乳児保育所を三百二十万円で沢の潤善寺境内に新築、開所し子持ちの職業婦人から大好評を博している。このほか市立保育所として南、北があり、これら三つの保育所には、乳児五十名、幼児百十二名が保育されている。

これからは、保育所を増設するということがよりも現在の保育所の充実をはかつて、働らく人たちへのサービスに努める。

公営住宅は、現在市営が九十五



(写真はお屏どきの中央保育所)

戸、県営が二十五戸。市制後建設した市営住宅は二十八戸、県営が十五戸。このうち十戸が伊勢湾台風で流失している。民生課の推定ではいま大抵二百五十戸の住宅が不足しているという。山内市長も「財政再建もあと一年で一改善するから、来年から毎年二十戸づつ市営住宅を建てていきたい」とはりきつていいる。

大繁昌の公益質屋

さる昭和三十年十月設置、月三分という低利でみなさんの金融の便をはかつていいる。利用者はサラリーマン、商業、農業、マチノである。過去五ヶ年間で貸出し総額は約千万円で四千二百二十五件という繁昌ぶりである。

伝染病は三分の一に激減

近年カとハエが少なくなると同時に伝染病患者が市制発足当時の三分の一に激減している。その理由は、伝染病に対する市民的向背が高まったことと、これを衰づける国民保険制度にあると思われる。

従来伝染病患者数の大半が鹿谷

伝染病患者数

昭和29	177
30	138
31	132
32	73
34	68
35	25

町で占めていた。そこで同町はさる三十二年、市衛生課や保健所の後援で「伝染病ボク減モデル地区」ときめ、全町民が一丸となつてこの運動をおしすめた。その結果、ここ二年間はまた一人も患者を出していないとい

市民皆保険を実施

近年中に火葬場を移転

町もこれに同調しかなりの成績をあげていることは、注目してよい。

市民皆保険は七市のトップを切つて市制と同時にスタートした。半額だけ自己負担という特典がものをいい、病気の早期発見と正しい治療に準仕していることは見逃すことができない。おかげで国保は大繁昌、別表のとおり医療費は去年あたりからグンとあがっている。衛生課のくわしい調べによると、被保険者一人当り年間約二千円というから、ことし八十円ばかり保険税を増額したとて、国保の収支のバランス

はむつかしいだろう。こうして六百万円の赤字が出てしまった。これ以上医療費がかさんではどうにもならない。

国保医療費	
昭和31	3502万円
32	3474万円
33	3482万円
34	4403万円

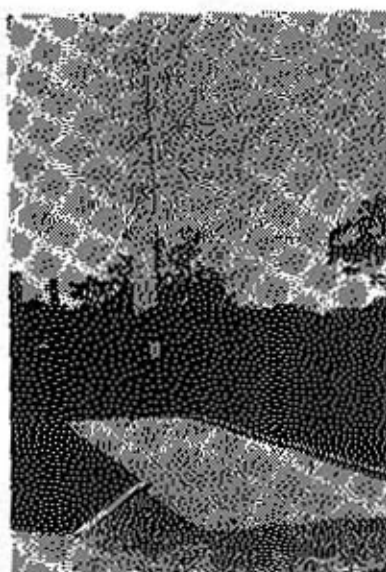
んが病気になるまいよう心がけてもらうよりほかにないと山口衛生課長は思案願。

ほしい共同墓地

衛生行政の実績をあげれば、伊勢湾台風で流れたゴミ焼場を新築近代的な設備で一日七・七〇(二千萬)処理している。このほか水道施設、他市にさきがけた成人病検査、全市民のレントゲン検査の実施などがある。

今後の課題として先づ取り上げられるのは、火葬場の移転改築である。国道縦貫線ができて、いまの火葬場はマチの真中になつてしまつた。七百万円の予算で近年中に実現する予定。

次に尿処理場の建設、近ごろの農家はし尿を散逸して、殆んど使用していない。したがつてし尿処理は各都市のなやみのタネの一つ。処理場建設費は少なくとも四



(写真は新築された大塚のゴミ焼き場)

夏季大学講座

日時 8月26、27、28日 (3日間) 毎夕7時~9時30分
会場 成器西小学校講堂

- 26日(金) 女性が強くなつたというけれど 戸塚文子氏
雑誌『女性』編集長 戸塚文子氏
随筆・評論家
- 27日(土) 古典と現代文学 山本健吉氏
俳句・文芸評論家 山本健吉氏
- 28日(日) 最近のアメリカ社会と日本の情勢 伊藤昇氏
毎日新聞論説委員 伊藤昇氏

千万円かゝるといふ。これも数年内には実現しようだ。第三は共同墓地の設置だ。誰もがこの案に賛成はしてくれるが、サア、実行となると宗教感情などが入つて容易でない。したがつて、みなさんのご協力が絶対不可欠である。

